



FAS コネクタソケット「F」組立手順書

◎安全に関するご注意

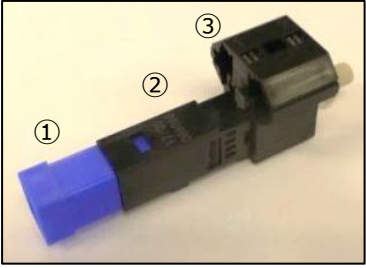
光ファイバ取扱い中に、折れた光ファイバの破片が誤って目に入る、あるいは体に刺さるなどしてケガをする危険性があります。安全のため、作業中は常に安全眼鏡を着用して、光ファイバ屑の取扱いには十分注意して下さい。

◎工法注意

クサビを抜いた後、ファイバホルダの蓋を開けてから、コネクタを取出し、クサビユニットを外して下さい。（ 3-3 参照 ）

1. 製品構成

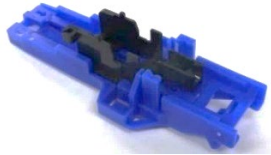
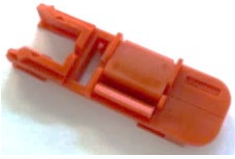
FAS コネクタソケット「F」は以下の物品で構成されています。

	①キャップ ②コネクタ本体 ③クサビユニット
--	---------------------------------------

2. 治具

治具にはファイバ挿入治具、スライダ及び共通ファイバホルダ及び 05-025 一括ストリップがあります。

05-025 一括ストリップは、本コネクタには添付されておりません。、FAS コネクタプラグ「F」「F」の付属品をご使用ください。

ファイバ 挿入治具 (スライダ付)	 ※出荷時はスライダが挿入 治具に取付けられています。	共通ファイバ ホルダ		05-025 一括 ストリップ	
----------------------------------	--	-----------------------	--	--------------------------------	---

準備工具

	①ニッパ ②光ファイバカッタ（例 CT-50）
---	------------------------------------

注意）推奨工具以外を使用する場合、ファイバの口出し処理が指定の寸法通り行えることを必ず確認してください。

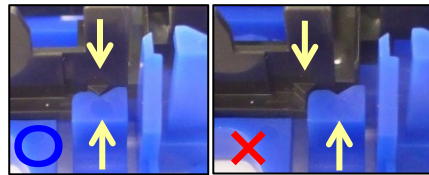
3. 作業手順

① 治具およびコネクタの準備

1-1 ファイル挿入治具のスライド取付け
ファイル挿入治具のスライド挿入部側からスライドを挿入し、突き当たるまで押し込んでスライドを固定します。



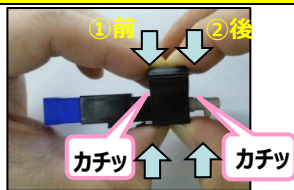
スライドが取り付けられた状態



スライドの凸とファイル挿入治具の凹が合っている(左側)、ずれている(右側)

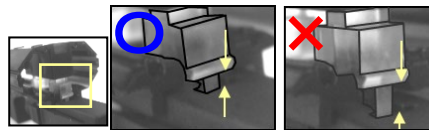
1-2 クサビ（前側、後側クサビ）確認

クサビが入っていることを確認します。

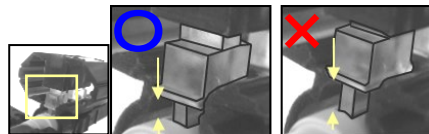


※クサビが抜けている時は、前、後ろの順にクサビを押込みます（クサビが入った際、カチッと音がします）。

前クサビ



後側クサビ



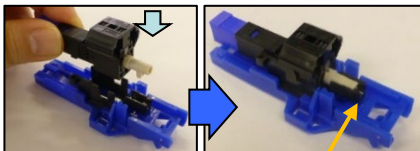
左側：入っている(狭い)

右側：抜けている(広い)

クサビが入っていないとファイバ挿入できません。

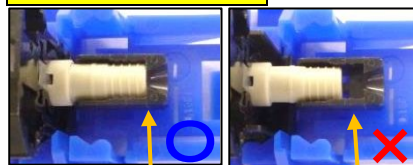
1-3 スライドにコネクタを取付け

スライドにコネクタ上部からはめ込みます。



すきまの確認をする

すきま無くはめ込むこと。



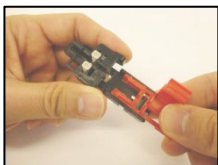
すきま無し

すきま有り

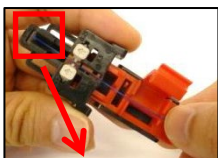
※コネクタ組立時にファイバたわみ確認が適切にできなくなるため、すきまがある場合はコネクタをはずし、すきま無くはめ直します。

② ファイバ端末処理

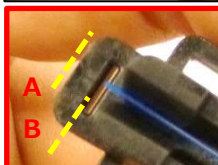
2-1 共通ファイバホルダへの設置



05-025 一括ストリップに共通ファイバホルダを挿入します。



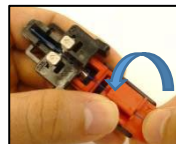
ファイバ素線を一括ストリップ、ファイバホルダにセットします。



A: カッタ屑回収箱使用時、ストリップ先端
B: AOTS 加圧機使用時、スリット部

ファイバ先端の位置

ファイバホルダのフタを閉じます。このとき、ファイバをフタにはさみ込まないようにします。



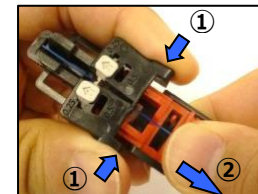
OK



NG

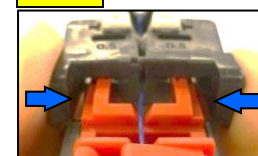
2-2 被覆除去

① しっかりと挟んで



② 共通ファイバホルダを引きます。

ポイント

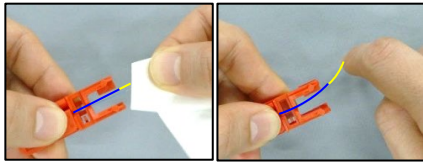


05 被覆部分のストリップの刃がしっかりと閉まるまで握ります。

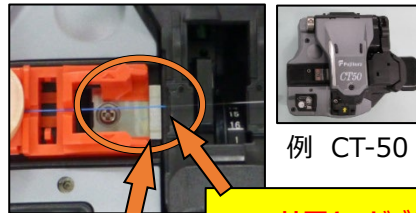
注：ファイバ先端に被覆が残りますが、ファイバカット時に切り落とされます。

2-3 清掃・スクリーニング

被覆除去したファイバ表面をアルコール付きコットンで清掃します。その後ファイバを指でゆっくり上下左右 3 回ずつ曲げて（60°程度）折れないことを確認します。



2-4 ファイバカット



すきまの無いこと

025 被覆キワがゴム板の左端にあること

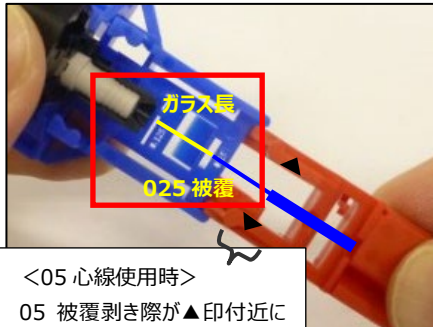
例 CT-50



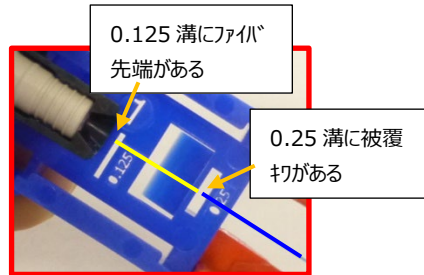
※別途ファイバカッターの取扱説明書をご参照下さい。

③コネクタの組立

3-1 ファイバ挿入



<05 心線使用時>
05 被覆剥き際が▲印付近にあることを確認する。
(025 心線のときは無し)

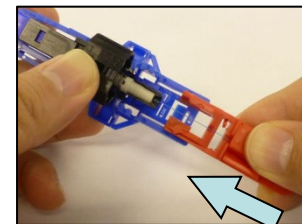


ファイバ挿入治具のマークでファイバ処理長さを確認する。

※ファイバ処理長さが合っていないと最適なたわみの確認ができません。

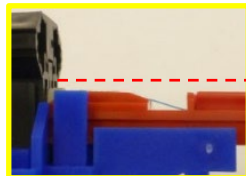
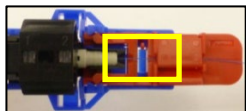
ポイント

処理長がずれたら共通ファイバホルダ、05-025 一括ストリッパの交換をして下さい。

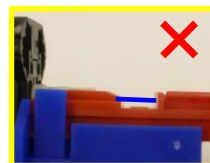


共通ファイバホルダをスライドさせ、ファイバを挿入する。

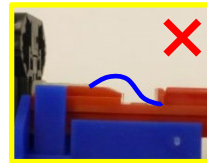
2 ファイバたわみ確認



たわみは共通ファイバホルダ上面を越えないこと。



たわまない



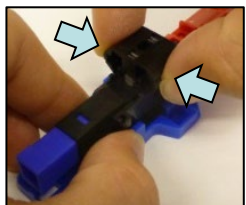
たわみすぎ

『たわまない』『たわみすぎ』は組立失敗
⇒ 最初からやり直し

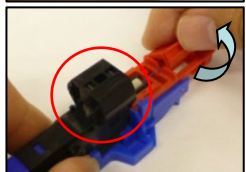
※たわみ過ぎの場合はクビが抜けている可能性があります。

1-2 項を再度確認してください。

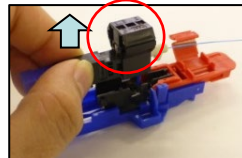
3-3 コネクタ取り出し



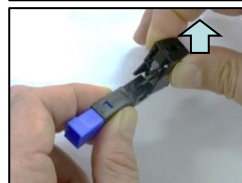
①クビユニット側面を両側からつまんでクビを浮かせる。



②ファイバホルダのフタを開ける。



③コネクタを上を外す。



④最後にクビユニット側面を両側からつまんで抜取る。

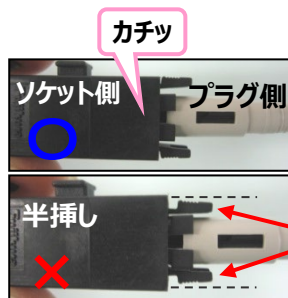
ポイント

②③クビユニット（赤丸）は残したまま

作業中、心線をひっかかないように注意する。

3-4 完成

コネクタ接続する直前にキャップを外してください。



コネクタ部を後ろに引張っても
抜けないこと。

ラッチが上がりきっていない。

▶ [株式会社フジクラお問い合わせフォーム](#)